



【北九州市立高等学校】地域社会にかかる新学科を設置（令和6年度予定）

新学科の目的：

SDGsの視点から社会課題を捉え、探究活動と「産・官・学・民」の連携によって社会変革とビジネスの一致を目指すとともに、未来の社会や世界をけん引する力を備えた若者を育成します。

市民からさらに愛され、選ばれる学校へ

学校を支援する人材

地域住民
企業、大学、行政



地域から

探究的な学習活動の充実

（PBL、STEAM等の手法を用いた学び）

SDGsをテーマに3年間に渡る学習を可能。学校内外の資源を活用し、専門家による研修などを通じて学習活動を充実

学校設定の独自教科を新設

企業や大学の協力と、情報ビジネス科との連携の下、社会問題・社会課題をビジネスの視点から着目し、解決に導くことを目指す。➡ 地方創生、新たな産業の創出

（仮称）「市高タイム」の導入

資格講座、小論文講座、地域活動、部活動等を選択でき、自分の裁量で学べる個別最適化された学習環境を提供

- ・生徒のキャリア育成
- ・地域人材の育成
- ・主権者教育
- ・小中高大の連携
- ・持続可能な地域との協働学習



地域へ

地域を支える人材

地域に愛着を持ち
地域に貢献する人物
創造性や行動力をもった人物



主体性・企画力・協働する力を持つ生徒の育成

コーディネーター

- ・外部との連携調整
- ・考察のみならず、事業化などの視点も取り入れたカリキュラムの開発など

学びたいことを積極的に提案
（主体性・企画力）



提案に応じた学校支援

情報ビジネス科との協働・交流
（商業のノウハウなど）

運営指導委員会

事業の目的・年間計画等の検討・承認

「産・官・学・民」連携によるコンソーシアム

「北九州市立」だからできること

● 市内唯一の「市立」高等学校である強み

- ・市立小・中・高と系統的な学びが可能
- ・北九州市役所の様々な部署（産業経済局、環境局等）との連携、協力体制を構築（多種多様な分野の外部人材、企業等との連携が可能）

● 「産・官・学・民」が連携して世界の環境都市に成長した実績

- ・「産・官・学・民」の力で公害を克服した実績（ピンチをチャンスに変えてきた「市民力」の精神）
- ・環境モデル都市、環境未来都市、SDGs未来都市等の取組を通じて、シビックプライドを醸成（北九州市民であることの誇り）

「産・官・学・民」が連携して公害を克服



OECDより「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に選定

